

# コンビニ生鮮販売

## 新たな販路を歓迎

### 納入業者 小分け、包装請け負

農産物を販売するコンビニエンスストアや、都会の小規模スーパーの増加に伴い、食肉、野菜の包装、パックといった作業の外注が増えている。全国的にスーパーの売り上げが減り続け、農畜産物の需要が先細る中、流通業者らは新たな販路と売り上げの拡大を歓迎している。

(1面参照)



コンビニ向けパックはグラム単位の重量統一が必要。新たな設備導入や雇用増大に対応する業者 (神奈川県相模原市の日本カイハツミートで)

コンビニがスーパーと「ツクしたり野菜をカット」がない点だ。パック大きく違うのは、肉を「パ」したりする「バックヤー」などの作業はすべて外部

に委託する。ローソンストア100を運営する九アプラスは「人件費や店舗の賃料が少なく済み、売価を安く抑えられる」と利点を強調する。

食肉業者の日本カイハツミートは、銘柄豚「いなか豚」などを神奈川県内のローソンストア100に納入する。主力は1匁約70匁の小間切れ肉で、1日7、8000匁を出荷。植村光一郎取締役は「手間は増えるが、売り上げ増につながる」と歓迎する。取引を機に、パック製造の設備を新たに導入し、10人ほど雇用を増やした。生産側にもメリットがある。「いなか豚」を生

### 産地ランキング

### 大玉スイカ

#### 8月の価格上位産地

順位	2009年	順位	08年
1	長野産 127円 1,482t	1	山形産 174円 4,726t
2	山形産 123円 5,368t	2	秋田産 161円 1,269t
3	青森産 104円 585t	3	北海道産 157円 661t
4	秋田産 103円 1,544t	4	長野産 145円 1,582t
5	神奈川産 64円 532t	5	神奈川産 116円 815t

東京市場



8月の東京市場の大玉スイカ価格が前年を大きく下回ったが、長雨による品質低下で壺

産農家から集荷販売する金井畜産は、取引を通じて売り上げが1割強増えた。金井一三専務は「当社が売りにくい部位を買ってもらえるため、販売のバランスが良くなった」と、販路の拡大を喜ぶ。

青果の流通業者もコンビニの生鮮販売を歓迎する。ファミリーマートに納入する青果流通業者のベジテックは3年ほど前から取引を始めた。スーパーと異なり、野菜を1個ずつ管理する必要がある上、賞味期限の表示を求められる。また、店舗ごとに発注が来るために苦勞は多い。ただ、スーパーや外食向けの販売が落ち込む中、コンビニは着実に伸びているという。同社は「今後、スーパーに並ぶ取引先になる可能性もある」と期待している。

秋田 世田

最大級 インタイン・ロンド酒部門

質の良い物を届けてい

0.7 7.2 8.7 1.4 7.5 8.1 6.5 2.8 3.6 頭19万